

# 2023年3月期第1四半期 決算説明会



2022年7月26日  
株式会社トプコン  
取締役兼常務執行役員  
CFO 財務本部長  
秋山 治彦



会社紹介  
ビデオ

# 2023年3月期第1四半期 決算説明会

I. 2023年3月期第1四半期 決算報告

II. 2023年3月期 通期見通し

III. トピックス

IV. まとめ

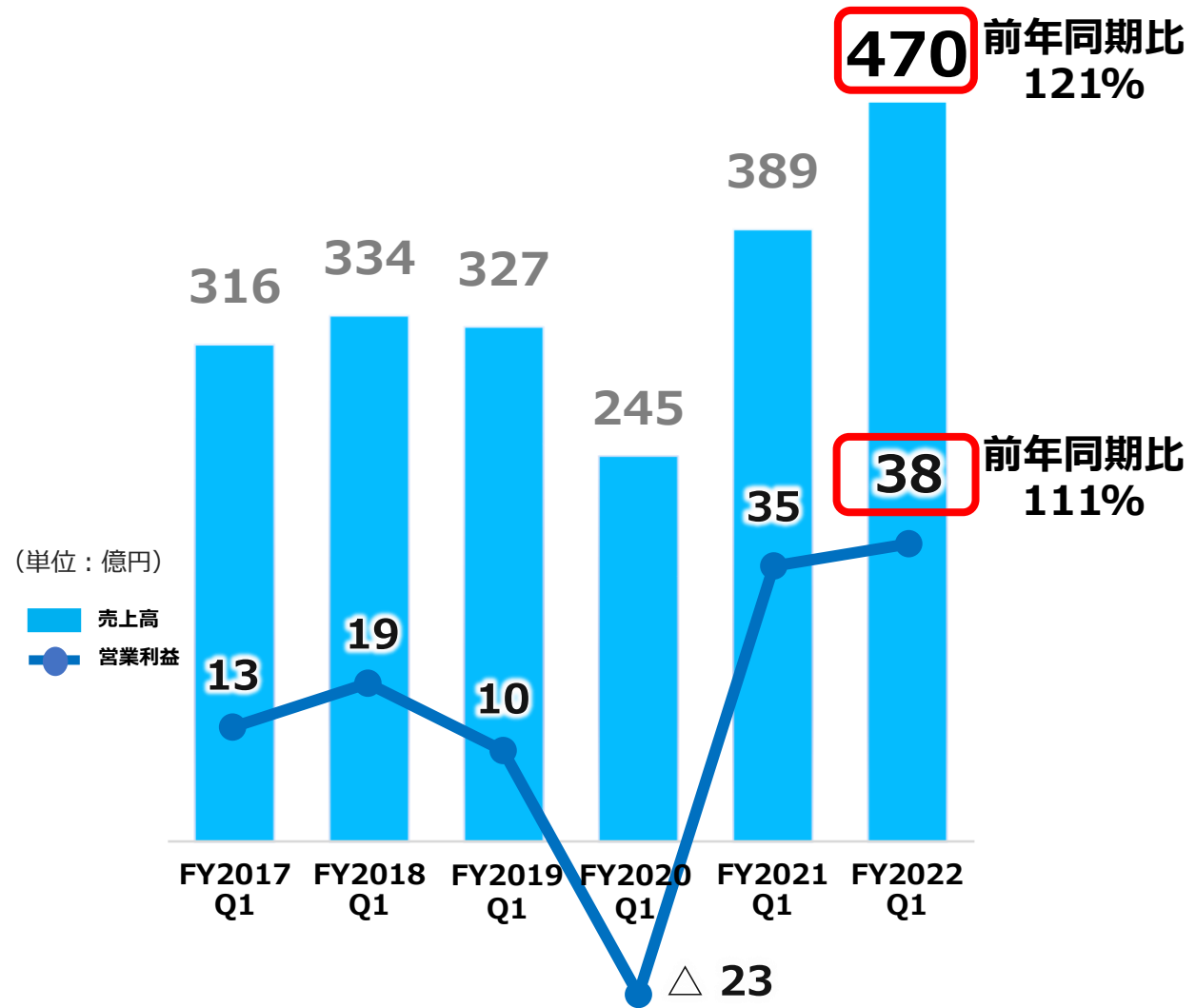
V. 参考資料

# I. 2023年3月期第1四半期 決算報告

## I-1. 2023年3月期第1四半期 決算報告

## I-2. 事業別の状況

# FY2022 Q1決算概要



## ■増収増益 売上高・利益 Q1過去最高

- 欧米を中心に堅調な需要が継続
- 部材不足、部材・物流費高騰の影響が顕在化 (前年同期は僅少)
- 利益はコロナ前を上回る水準に増加

# FY2022 Q1実績

## ■ 売上高・利益 Q1過去最高

(単位：百万円)

	FY2021	FY2022			
		Q1実績	前年同期比	前年同期比%	
売上高	38,898	<b>47,018</b>	8,120	+ 21%	
売上総利益 (売上総利益率)	20,331 (52.3%)	24,831 (52.8%)	4,500		
販管費	16,872	<b>20,997</b>	4,124		
営業利益 (営業利益率)	3,458 (8.9%)	<b>3,834</b> (8.2%)	375	+ 11%	
営業外損益	△250	158	409		
経常利益	3,208	<b>3,993</b>	784	+ 24%	
特別損益	0	0	0		
税引前利益	3,208	<b>3,993</b>	784		
四半期純利益	1,823	<b>2,790</b>	967	+ 53%	
為替 換算レート (期中平均)	USD EUR	110.00 円 131.78 円	129.04 円 138.24 円	19.04 円 6.46 円	

# FY2022 Q1事業別実績

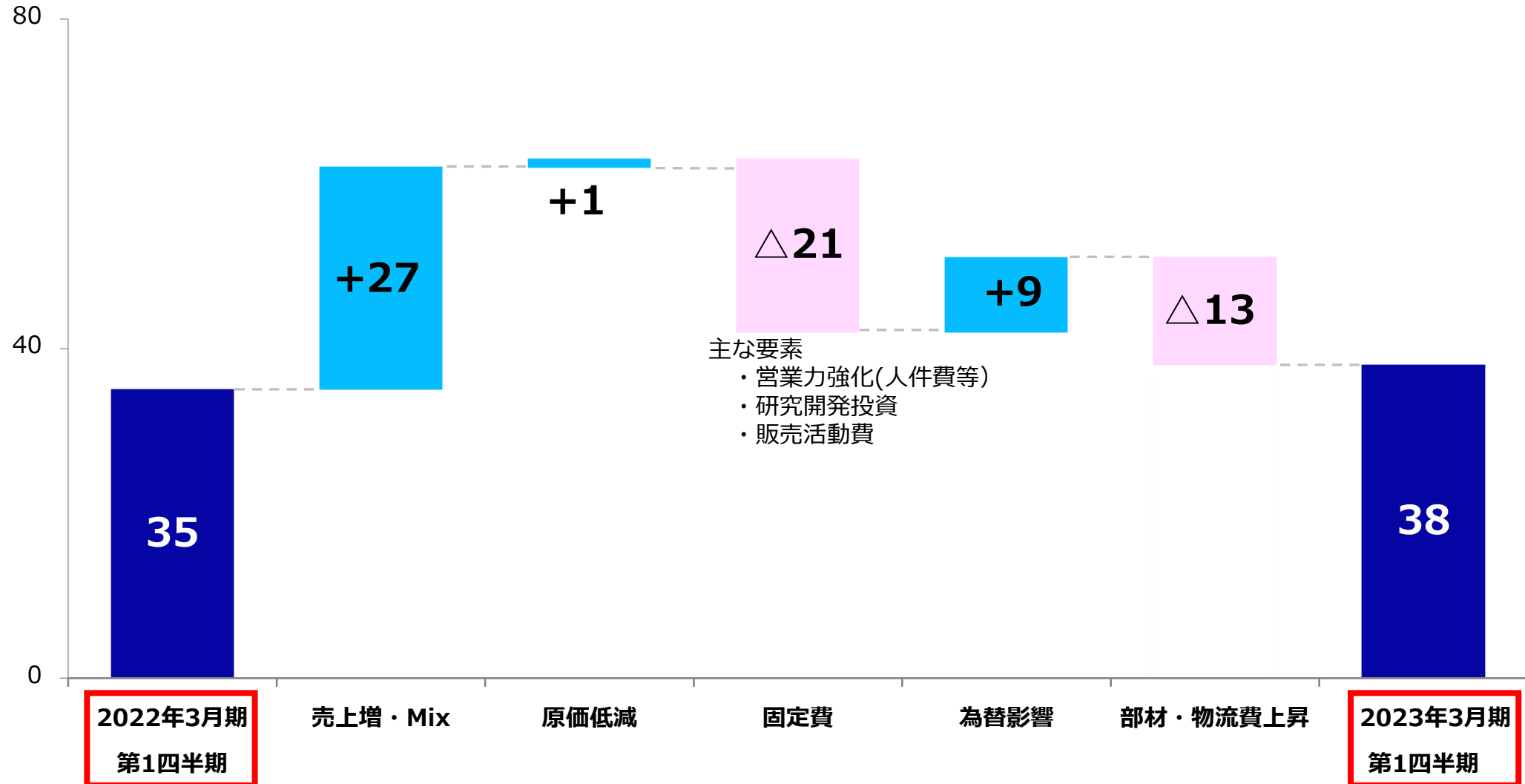
## ■ 全事業で増収

(単位：百万円)

		FY2021	FY2022		
		Q1実績	Q1実績	前年同期比	前年同期比%
売上高	ポジショニング	22,645	<b>27,314</b>	4,669	+21%
	スマートインフラ	8,700	<b>9,862</b>	1,162	+13%
	アイケア	11,398	<b>14,051</b>	2,653	+23%
	その他	275	261	△14	
	消去	△4,122	△4,470	△347	
	合計	38,898	<b>47,018</b>	8,120	+21%
営業利益 (営業利益率)	ポジショニング	3,061 (13.5%)	<b>2,864</b> (10.5%)	△196	△6%
	スマートインフラ	1,287 (14.8%)	<b>1,607</b> (16.3%)	320	+25%
	アイケア	233 (2.1%)	<b>559</b> (4.0%)	325	+139%
	その他	△89	△104	△15	
	調整	△1,034	△1,093	△59	
	合計	3,458 (8.9%)	<b>3,834</b> (8.2%)	375	+11%

# FY2022 Q1累計増減益分析（営業利益ベース:前年同期比）

(単位：億円)





# I. 2023年3月期第1四半期 決算報告

I-1. 2023年3月期第1四半期 決算報告

I-2. 事業別の状況



### ■ Q1売上高過去最高も減益

(単位：百万円)

	FY2021	FY2022		
	Q1実績	Q1実績	前年同期比	%
<b>売上高</b>	22,645	<b>27,314</b>	<b>4,669</b>	<b>+21%</b>
<b>営業利益</b> (営業利益率)	3,061 (13.5%)	<b>2,864</b> (10.5%)	<b>△196</b>	<b>△6%</b>
為替 換算レート (期中平均)	USD 110.00 円	129.04 円	19.04 円	
	EUR 131.78 円	138.24 円	6.46 円	

### 業績要因分析

#### 全般

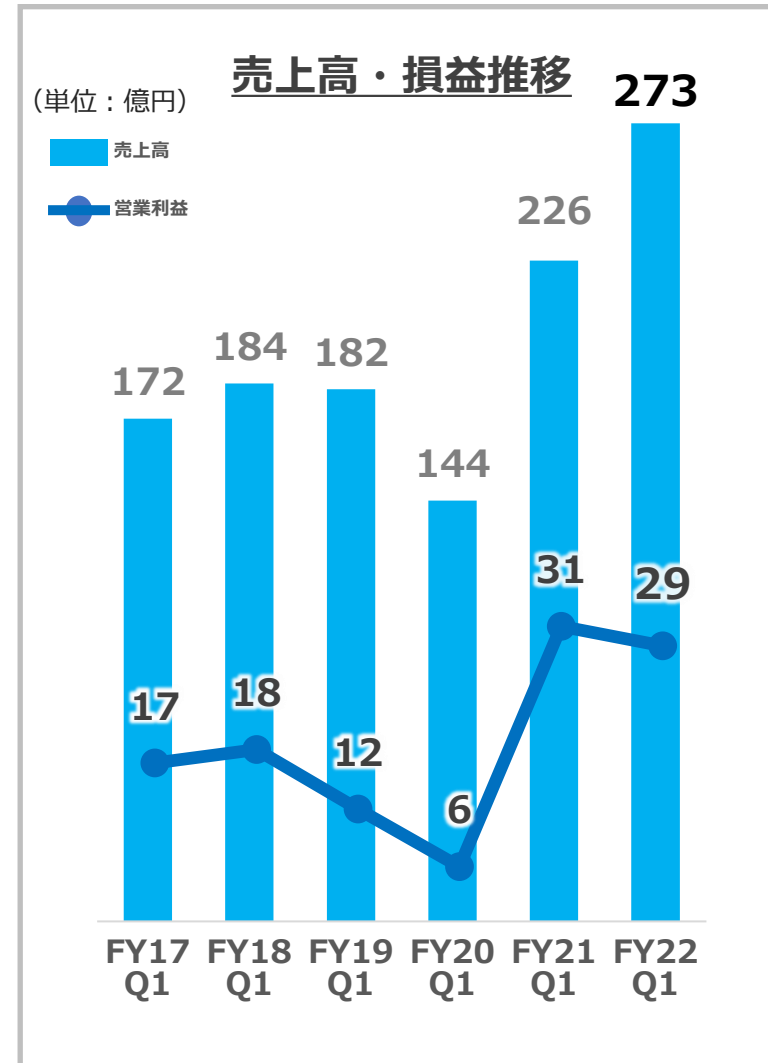
- 部材不足による出荷遅延拡大も、欧米での堅調な需要継続で増収
- 部材・物流費高騰の影響顕在化
- 利益はコロナ前を上回る水準に増加

#### ICT自動化施工・IT農業

- アフターマーケット・OEM共に販売好調継続

#### 測量機・レーザー機器

- 部材不足の影響も、高水準の販売を維持



## ■ Q1売上高・営業利益過去最高

(単位：百万円)

	FY2021	FY2022		
	Q1実績	Q1実績	前年同期比	%
<b>売上高</b>	8,700	<b>9,862</b>	<b>1,161</b>	<b>+13%</b>
<b>営業利益</b> (営業利益率)	1,287 (14.8%)	<b>1,607</b> (16.3%)	<b>320</b>	<b>+25%</b>
為替 換算レート (期中平均)	USD 110.00 円	129.04 円	19.04 円	
	EUR 131.78 円	138.24 円	6.46 円	

## 業績要因分析

### 全般

- 国内向け販売堅調、東南アジア・インド向け復調
- 部材不足、部材高騰の影響顕在化

### 測量機

- トータルステーションの好調な需要継続

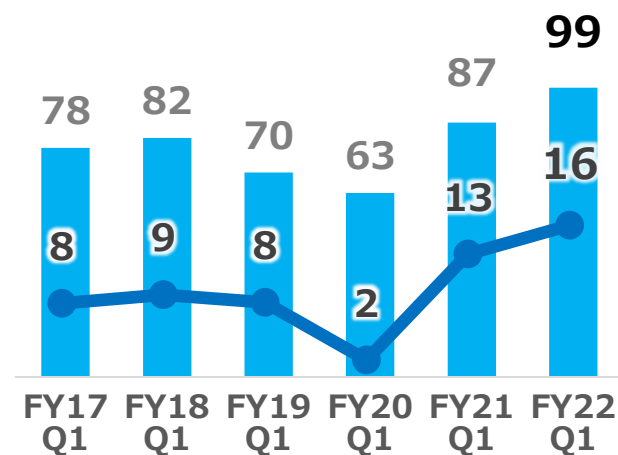
### ICT自動化施工・IT農業

- 中小型建機・農機向けシステム受注好調も、部材不足で出荷遅延継続

## 売上高・損益推移

(単位：億円)

■ 売上高  
● 営業利益



## Q1売上高過去最高

(単位：百万円)

	FY2021	FY2022		
	Q1実績	Q1実績	前年同期比	%
売上高	11,398	14,051	2,653	+23%
営業利益 (営業利益率)	233 (2.1%)	559 (4.0%)	325	+139%
為替 換算レート (期中平均)	USD 110.00 円	129.04 円	19.04 円	
	EUR 131.78 円	138.24 円	6.46 円	

## 業績要因分析

### 全般

- 部材不足による出荷遅延拡大も、欧米向け好調な販売により大幅増収
- 部材・物流費高騰の影響顕在化
- 中国向けは上海ロックダウンの影響で一時的な販売減

### スクリーニングビジネス

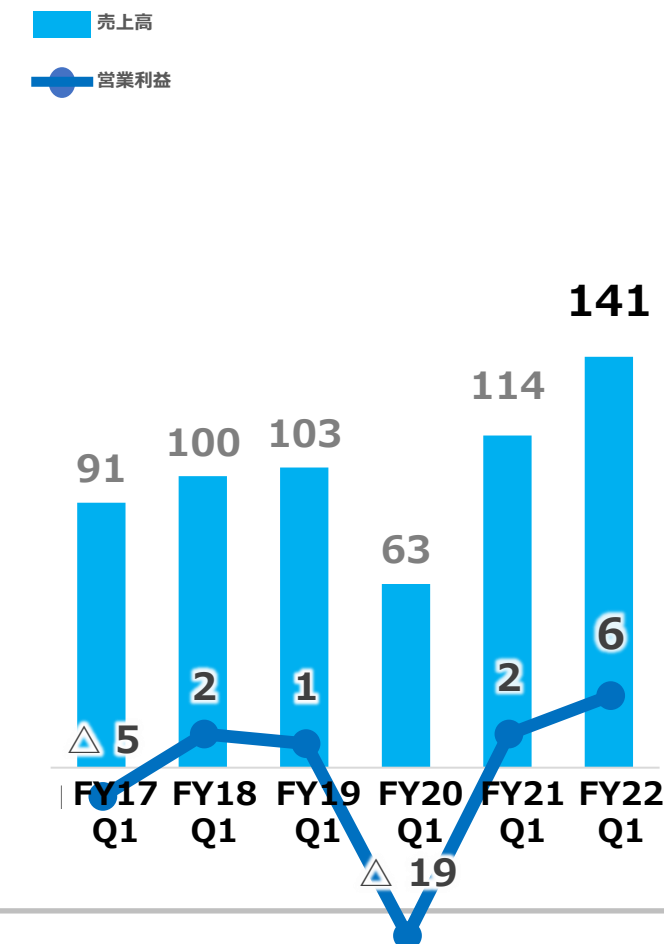
- Maestro/NW400を中心に欧米大手眼鏡チェーン店向け好調な販売継続

### デジタル検眼システム

- 欧米大手眼鏡チェーン店向け堅調な販売継続

## 売上高・損益推移

(単位：億円)



## Ⅱ. 2023年3月期 通期見通し

# FY2022 通期見通し

## ■ 期初計画から変更なし

(単位：百万円)

	FY2021	FY2022		
		通期実績	通期見通し	前年度比
売上高	176,421	190,000	+8%	180,000
営業利益 (営業利益率)	15,914 (9.0%)	18,000 (9.5%)	+13%	20,000 (11.1%)
経常利益	14,820	17,000	+15%	-
純利益	10,699	12,000	+12%	-
ROE	14.0%	14%		13~15%
配当	36円	40円	+4円	-
配当性向	35%	35%		35%以上
為替換算レート (期中平均)	USD EUR	112.86 円 131.01 円	120 円 130 円 Q2以降の前提レート	110円 125円

# FY2022 通期見通し (事業別)

(単位：百万円)

		FY2021	FY2022		
			通期実績	通期見通し	前年度比
売上高	ポジショニング	96,692	106,000	+10%	93,000
	スマートインフラ	39,040	42,000	+8%	43,000
	アイケア	57,352	62,000	+8%	62,000
	その他	1,184	1,000		1,000
	消去	△17,848	△21,000		△19,000
	合計	176,421	190,000	+8%	180,000
営業利益 (営業利益率)	ポジショニング	11,548 (11.9%)	13,000 (12.3%)	+13%	-
	スマートインフラ	5,821 (14.9%)	5,000 (11.9%)	△14%	-
	アイケア	3,203 (5.6%)	4,500 (7.3%)	+40%	-
	その他	△365	△300		-
	調整	△4,293	△4,200		
	合計	15,914 (9.0%)	18,000 (9.5%)	+13%	20,000

## Ⅲ. トピックス



## 米国インフラ投資雇用法 (2021年11月成立)

✓インフラ関連  
予算規模 ■ 総額約1.1兆ドル

✓ 今後8年間にわたり公共工事の  
増加に期待

公共工事の例



## 当社の強み 舗装工事の工場化

全ての工程をカバーする  
当社ソリューション

路面計測



設計



データ  
一元管理

転圧



切削

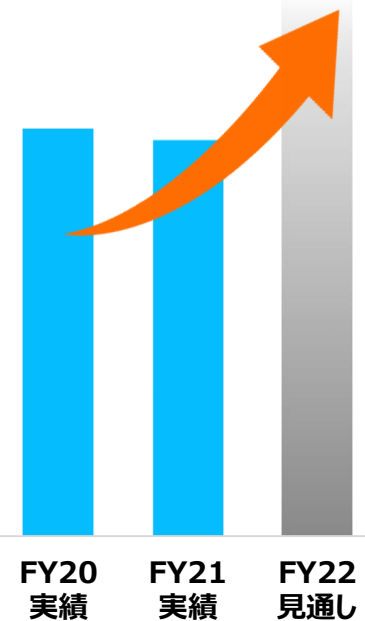


舗装



## 今後の 売上貢献に期待

舗装工事向け売上見通し  
(金額)





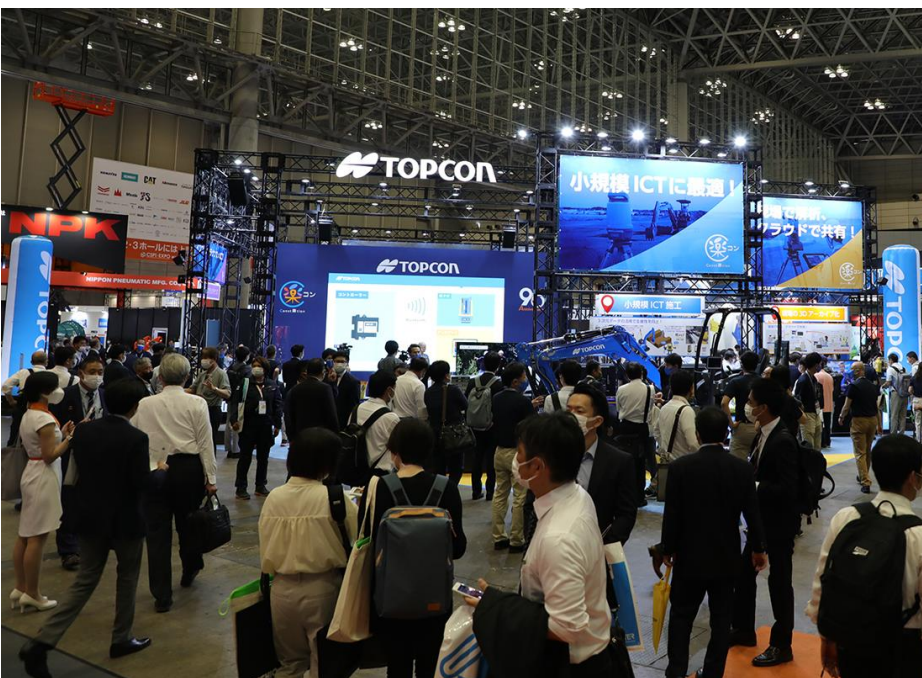
## ■ 建設・測量生産性向上展（CSPI-EXPO）でのティアアップ展示大成功

### 第4回「CSPI-EXPO 2022」

開催地：幕張メッセ  
日程：2022年5月25日～27日  
来場者数：4万人超

販売好調な杭ナビショベル\*  
多数の建機メーカー・レンタル会社が自社ブースに展示

\* ICTマシンガイダンスシステム



当社ブースの様子



## ■ VISIA社の製品開発力と当社グローバル販売網により事業伸長

### 買収後の進捗

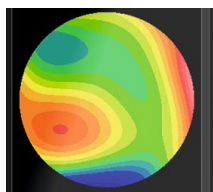
- ・ 欧米大手眼鏡チェーン店向けに販売拡大
- ・ グローバルな開発体制強化(伊・日の技術者による連携)
- ・ 生産能力の増強 (2022年5月工場スペースの拡張)



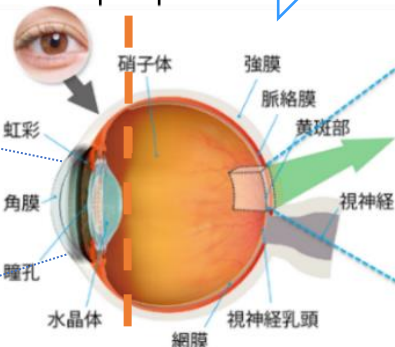
前眼部検査機器の開発・製造に強み



前眼部



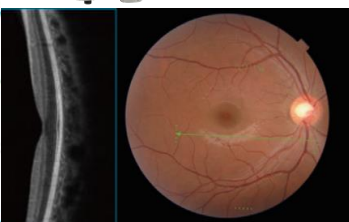
角膜形状解析



眼底イメージング機器の開発・製造に強み



3次元眼底像撮影装置  
3D OCT-1



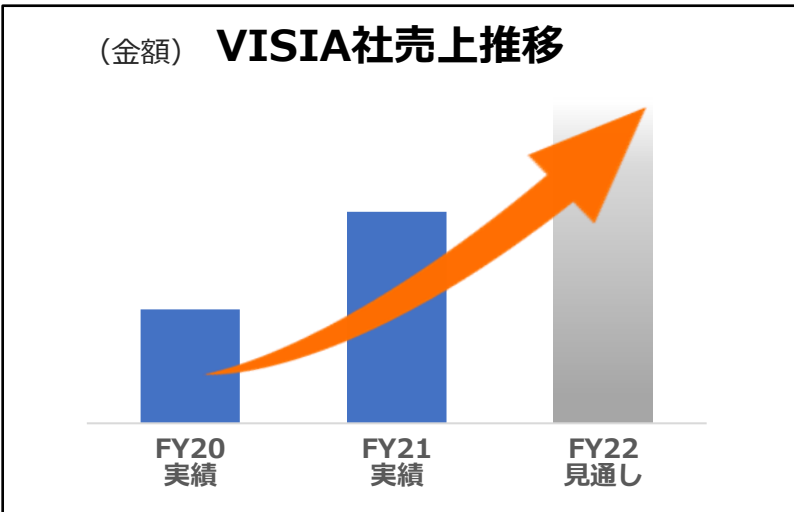
眼底OCT画像 / 眼底写真

### VISIA社主力製品

フルオート

オートレンズアナライザー SOLOS **NEW**

角膜形状解析+眼軸長計測 MYAH



※イタリア VISIA Imaging社 : 2021年7月に買収



# デジタルトランスフォーメーション（DX）の加速



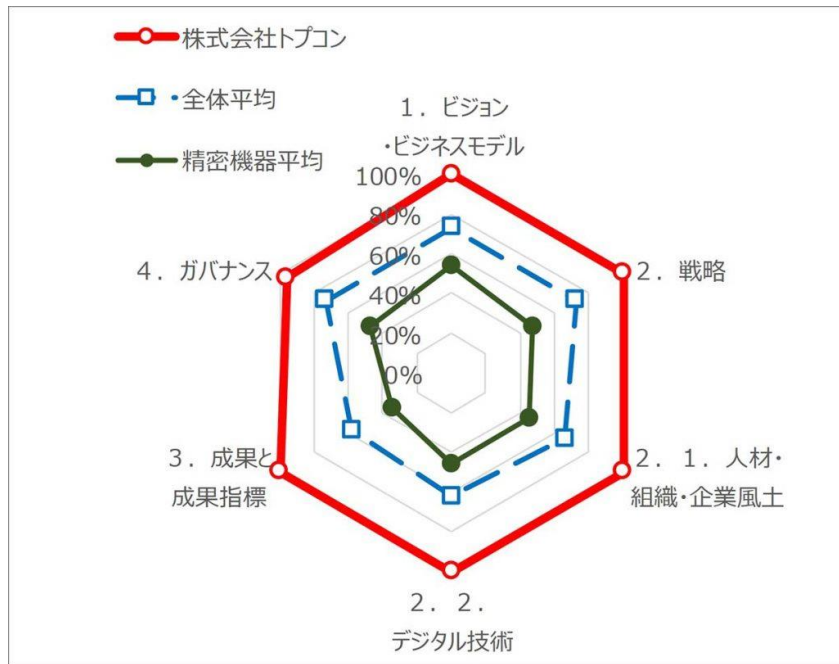
## ■ 3年連続 経済産業省「DX銘柄 2022」に選定！

(発表日 2022年6月7日)

「医」「食」「住」に関する社会的課題を  
**DXで解決する** 当社取り組みが高評価!!



国内上場企業 約3,700社を対象として、  
**総合評価点の最も高い企業 33社がDX銘柄**に選出



当社総合評価結果 (経産省資料より抜粋)

### DX銘柄2022選定企業(33社)表彰式

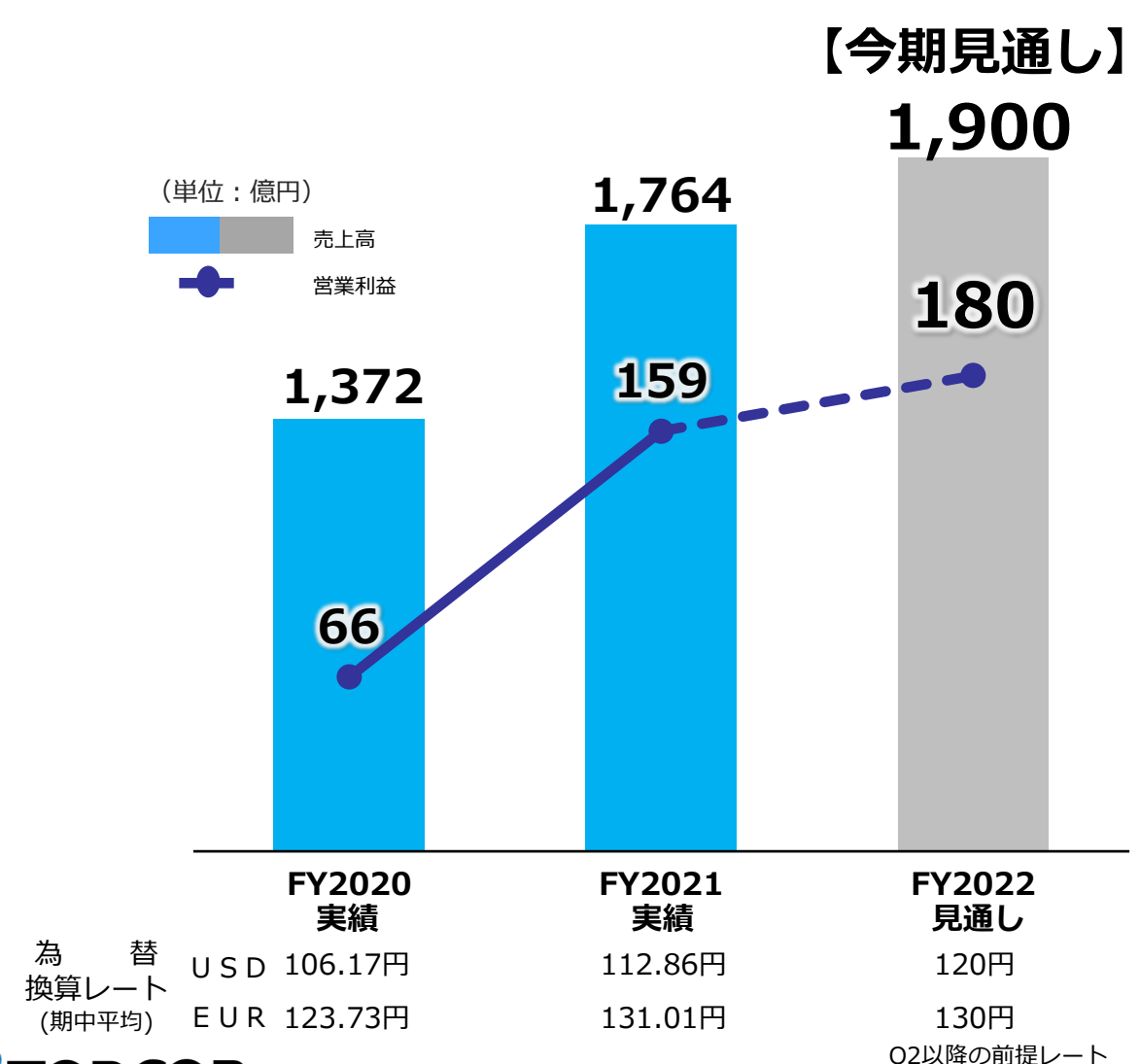


(於：東京証券取引所2階ホール)

# IV. まとめ

# まとめ

## ■ 期初計画から変更なし



不確実性は一層高まるが、  
堅調な需要を最大限取り込む

	見通し	前年度比
売上高	1,900億円	+8%
営業利益	180億円	+13%
経常利益	170億円	+15%
純利益	120億円	+12%
配当	見通し 40円	+4円

Topcon for *Human Life*

世界を丸く。



尖ったDXで、

DX銘柄  
3年連続受賞



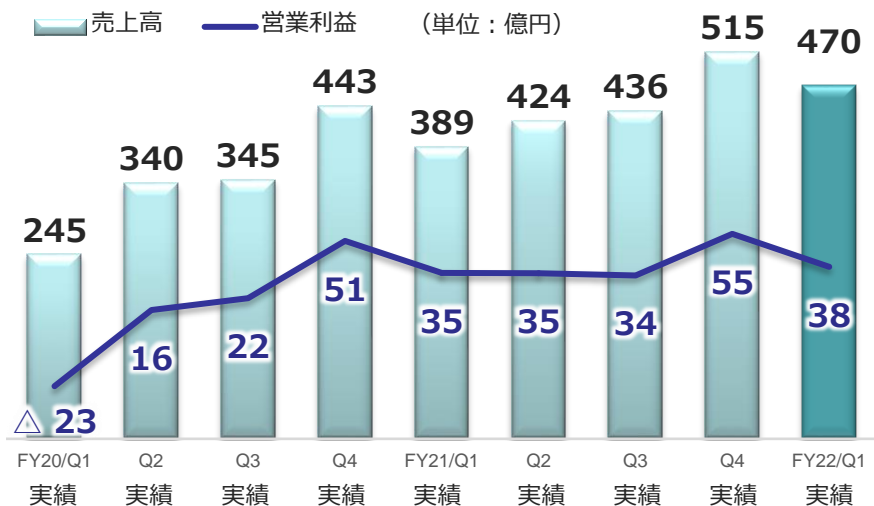
DX銘柄2022  
Digital Transformation



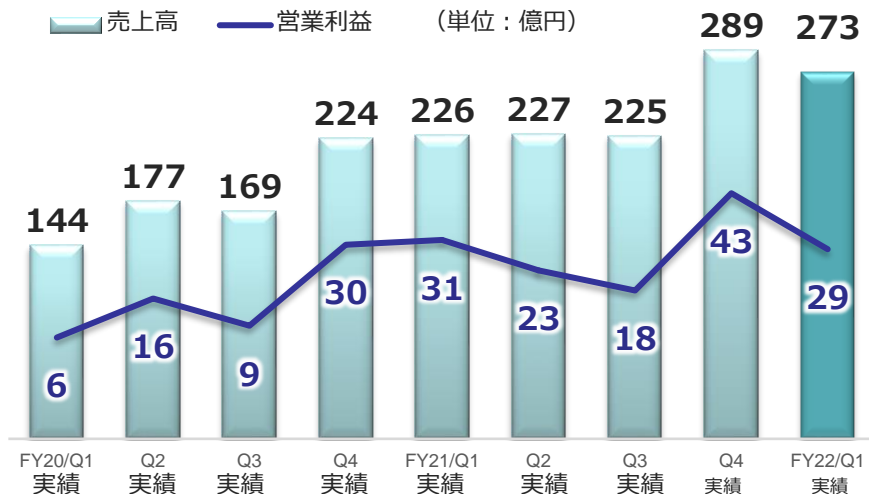
# V. 参考資料

# 四半期別業績推移

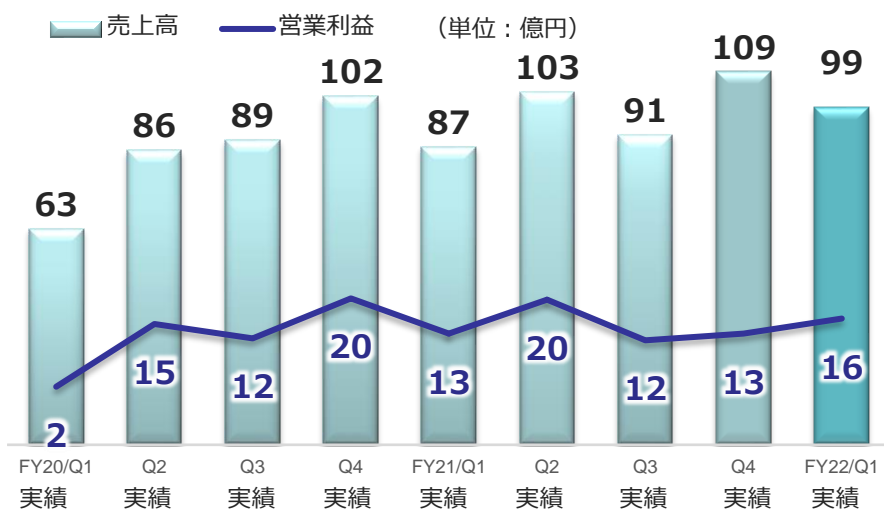
## ■ 全社



## ■ ポジショニング・カンパニー



## ■ スマートインフラ・ビジネス

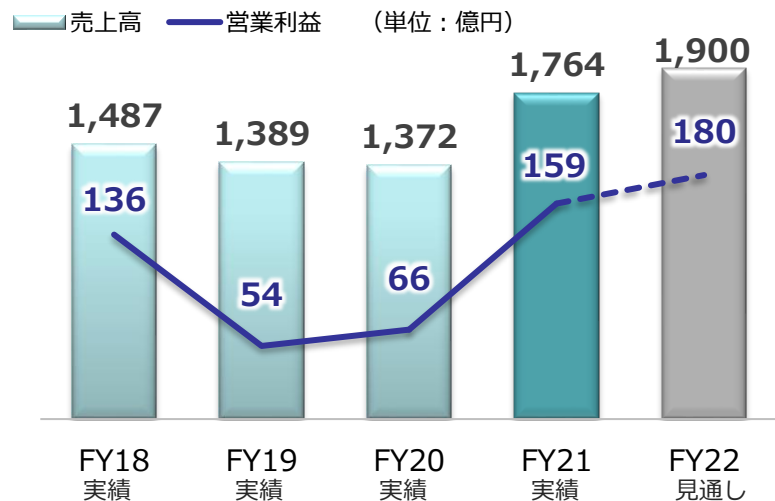


## ■ アイケア・ビジネス

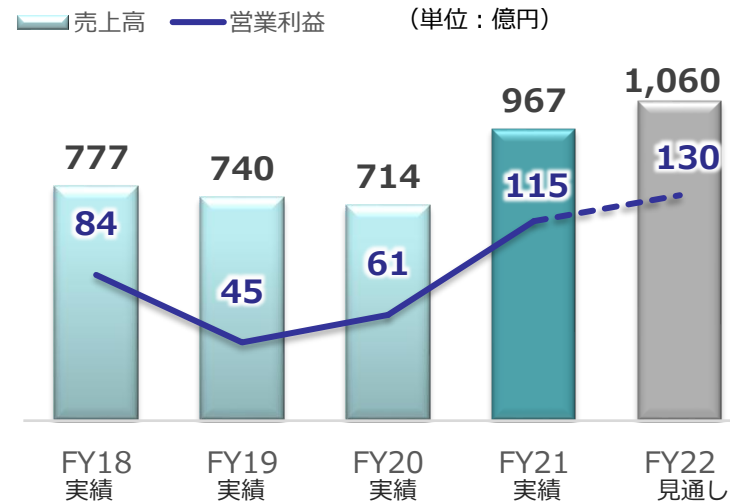


# 年間別業績推移・見通し

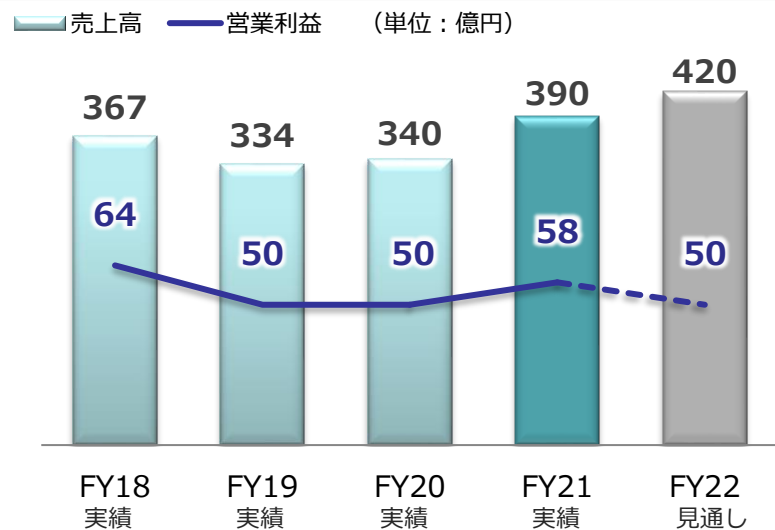
## ■ 全社



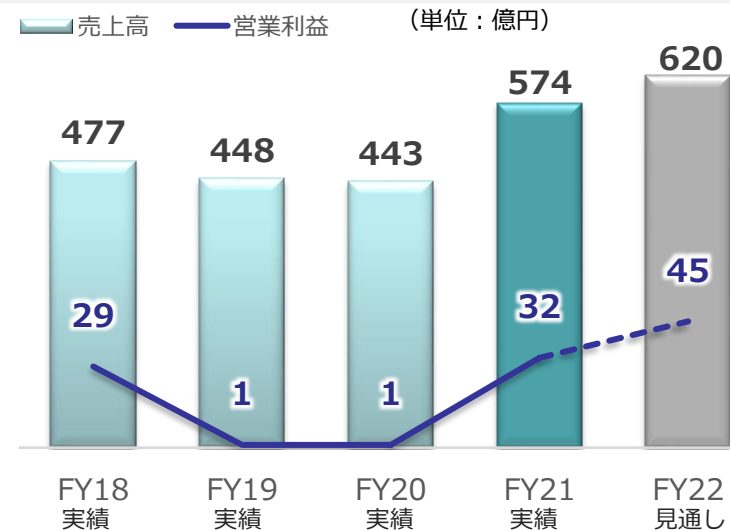
## ■ ポジショニング・カンパニー



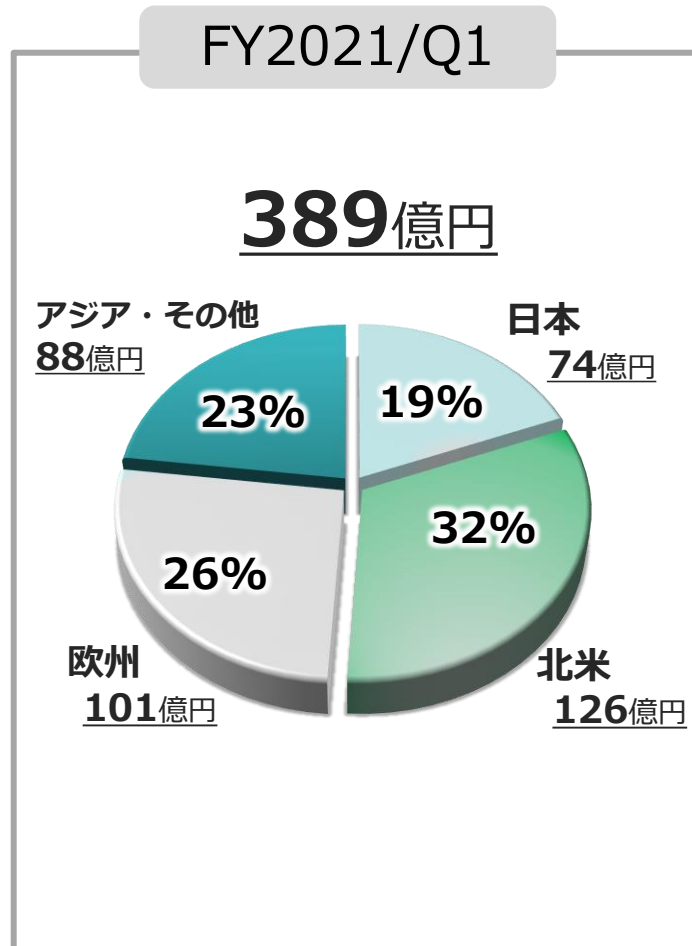
## ■ スマートインフラ・ビジネス



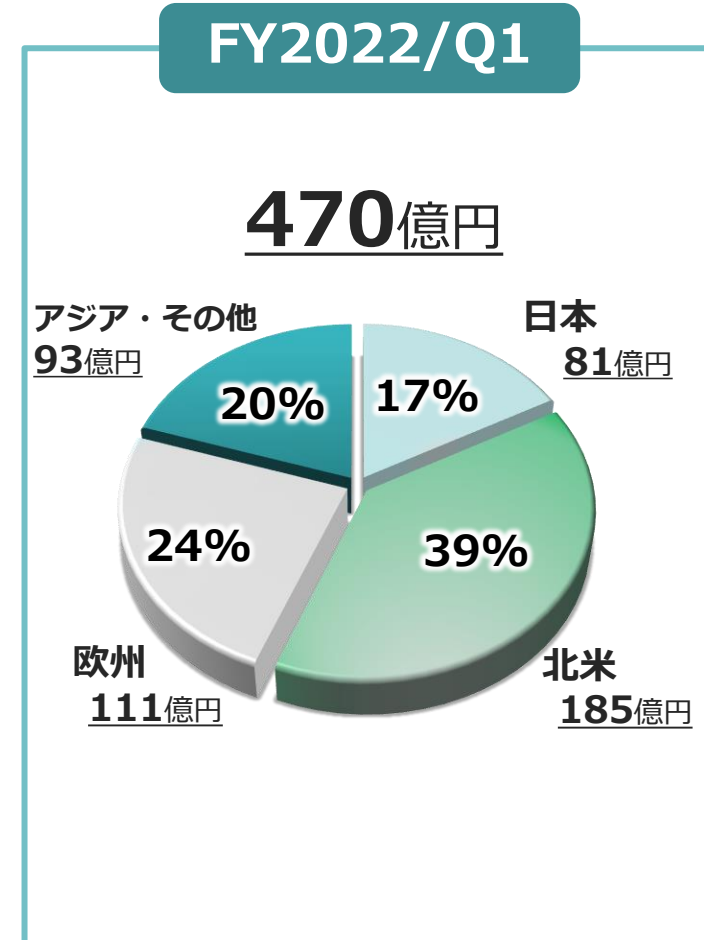
## ■ アイケア・ビジネス



# 地域別売上高



前年同期比  
**+21%**

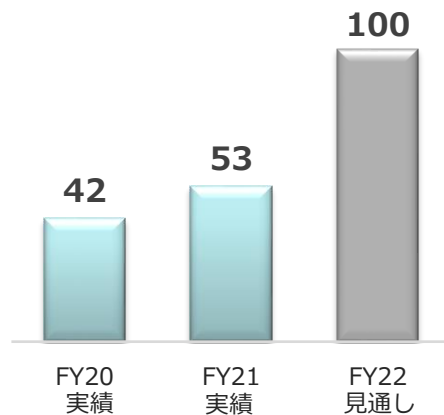


# 設備投資および研究開発費 / 為替感応度

## ■ 投資額・費用見通し

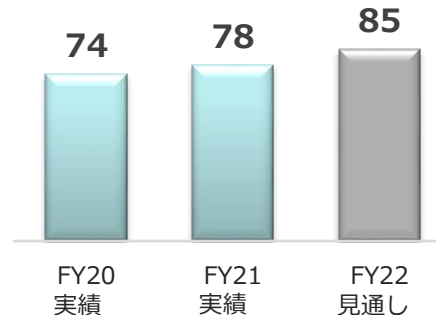
### 設備投資額

(単位：億円)



### 減価償却費\*

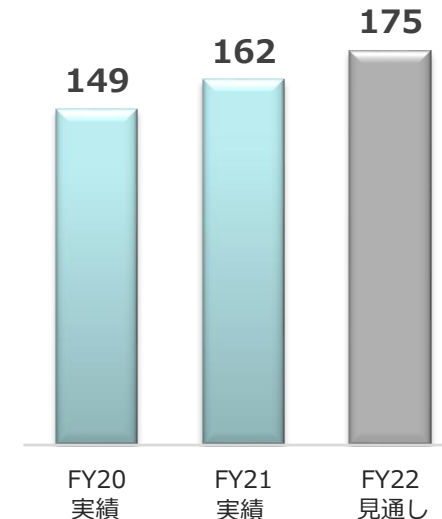
(単位：億円)



\*のれん償却費を除く

### 研究開発費

(単位：億円)



## ■ 為替感応度（1円の変動による影響額）

USD：営業利益 1.5～2億円

EUR：営業利益 0.7～1億円

## ■ 日経CNBC「トップに聞く」に当社代表取締役社長 平野 聡が出演しました



約18分の動画で当社の事業・成長戦略について分かりやすく説明しています。  
以下ニュースリリースより動画をご視聴頂けます。



■ ニュースリリース：<https://www.topcon.co.jp/topics/10402/>

## ■ 日経電子版に記事広告を連載しています



「歴史編」「事業編」「社長メッセージ編」の3部構成からなる記事広告を掲載しています。以下サイトより是非ご覧ください。（社長メッセージ編は9月公開予定）



■ 日本経済新聞ウェブサイト：<https://ps.nikkei.com/topcon2022/vol1.html>

# 個人投資家様向けページリニューアル

- 当社の「グローバルDX戦略」に関する情報を積極的に発信してまいります

個人投資家のみなさまへ  
To individual investors

株価情報  
7月14日 15:00 (リアルタイム)  
東証 プライム 7792

現在値 1,722  
前日比 +26

チャートを見る

個人投資家のみなさまへ

目指すは医・食・住の豊かな社会。  
トプコンのグローバルDX戦略を  
より深くご理解いただくための情報をお届けします。

世界を丸く。 尖ったDXで、

トップインタビュー 代表取締役社長 CEO 平野 聡  
「医(ヘルスケア)」「食(農業)」「住(建設)」のDX戦略について

## ニュースルーム

### DX銘柄 3年連続受賞

DX銘柄2020 Digital Transformation  
DX銘柄2021 Digital Transformation  
DX銘柄2022 Digital Transformation

3年連続  
経済産業省「DX銘柄2022」に選定!

「医・食・住」に関する社会的課題を解決する取り組みが高評価!!

1 会社紹介ビデオ

2 トプコンの歩み

3 会社概要

4 事業紹介

5 バーチャルシヨールーム

## 投資をお考えのみなさまへ

1 株主還元・配当

2 数字で見るトプコン

3 サステナビリティ

4 株主様向けイベント



■ ホームページ : <https://www.topcon.co.jp/invest/individual/>



## ■ 建機・農機の自動化システムそのものが環境負荷低減に貢献

**ICT自動化施工**



**住 Infrastructure**

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

**建機の自動化により  
稼働時間を約3割※1低減**

当社製品による  
CO2排出削減量  
(当社推定)

全世界  
**60万トン/年**※2

**IT農業**



**食 Agriculture**

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

**農機の自動操舵システムにより  
稼働時間を約2割※3低減**

当社製品による  
CO2排出削減量  
(当社推定)

全世界  
**50万トン/年**※4

**ベンダーニュートラルの強みにより  
既存の各社建機・農機を後付けて自動化**

**自動化の普及拡大で  
更なるCO2削減が期待**

※1：出典-国土交通省i-Construction 推進コンソーシアム 「i-Constructionの進捗状況」(2019) [https://www.mlit.go.jp/tec/i-construction/pdf/03.5\\_kikaku\\_siryu\\_u6.pdf](https://www.mlit.go.jp/tec/i-construction/pdf/03.5_kikaku_siryu_u6.pdf)

※2：算定根拠  
建機1台あたりの年間CO2排出量推定値に、ICT施工の活用による作業時間想定削減率を乗じた建機1台あたりのCO2排出削減量をもとに、ICT自動化施工機器の全世界での推定稼働台数と当社推定シェアを乗じて計算

※ i-Constructionは、国土交通省国土技術政策総合研究所の登録商標です。

※3：出典-AEM 「The Environmental Benefits of Precision Agriculture in the United States」(2020) <https://newsroom.aem.org/asset/977839/environmentalbenefitsofprecisionagriculture-2#.YBdQZR2Lc74.link>

※4：算定根拠  
農業用トラクター1台あたりの年間CO2排出量推定値に、オートステアリングシステムの活用による燃料消費想定削減率を乗じた農機1台あたりのCO2排出削減量をもとに、オートステアリングシステムによる自動操舵トラクターの全世界での推定稼働台数と当社推定シェアを乗じて計算

# 非財務情報について

## ■ サステナビリティ関連の外部評価

### 2022 CONSTITUENT MSCI日本株 女性活躍指数 (WIN)

#### MSCI日本株女性活躍指数 (WIN)

女性活躍推進法により開示される女性雇用に関するデータに基づき、多面的に性別多様性スコアを算出し、業種毎に同スコアの高い企業を選別するインデックスへ採用



■ ニュースリリース : <https://www.topcon.co.jp/news/10361/>



### FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

**FTSE Blossom Japan Sector Relative Index**  
各セクターにおいて相対的に、環境、社会、ガバナンス(ESG)の対応に優れた日本企業のパフォーマンスを反映するインデックスへ採用



■ ニュースリリース : <https://www.topcon.co.jp/news/9527/>



### 第3回日経SDGs経営調査

国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」への取り組みを格付けする調査において2年連続3つ星半を獲得



■ ニュースリリース : <https://www.topcon.co.jp/sustainability/news/2573/>

# 非財務情報について

- コーポレートホームページ上の当社が取り組む社会課題、SDGs等を説明したサステナビリティページ



## ・サステナビリティ

トプコンは「医（ヘルスケア）・食（農業）・住（インフラストラクチャー）」分野を事業領域としています。これらは世界中の人たちの生活に必須な分野です。

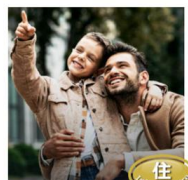
- トプコンとSDGs
- 環境に対する取り組み
- 社会に対する取り組み
- ガバナンスに対する取り組み
- 社会貢献活動
- トピックス・ニュース



より多くの人に、健康で快適な日常生活を



誰もが、豊かな恵みを受けられる食生活を



世界中に、安心して生活できる社会基盤を





## 当資料取扱上のご注意

本資料に記載の業績見通し、並びに将来予測は、現在入手可能な情報に基づき、見通しのもとになる前提、予想を含んだ内容を記載しております。  
実際の業績は、今後の事業領域を取りまく経済状況、市場の動向により、本資料の業績見通しとは異なる場合がございますので、ご承知おき頂きたくお願い致します。

### お問い合わせ先

株式会社トプコン 広報・IR室

TEL : 03-3558-2532

E-mail: [investor\\_info@topcon.co.jp](mailto:investor_info@topcon.co.jp)

URL : <https://www.topcon.co.jp>